

芸術

高文連創立40周年記念第15回大分県
高等学校総合文化祭を迎えて……… 1
開幕行事をふりかえって……… 2
中幕行事をふりかえって……… 3
閉幕行事をふりかえって……… 4
第26回大分県芸術祭賞等を贈呈……… 5
海外研修報告……… 6
県洋舞界の歩み(5)……… 7
モダンダンス・今年の舞台から……… 7
事務局だより……… 8



大分県芸術文化振興会議

■発行人: 仲町謙吉 ■編集人: 後藤正二

(題字 首藤春草)

No. 81

2.12



高文連創立40周年記念 第15回大分県高等学校 総合文化祭を迎えて

大分県高文連

会長 岩田 満之
(県立大分女子高等学校長)



小川 善規
(大分県美術協会会員)

大分県高等学校文化連盟創立40周年を記念して、第15回大分県高等学校総合文化祭が、文化会館での「高文連フェスティバル」を開幕行事として11月13日から県立芸術会館をメイン会場として開催されたところ、予想を上回る多くの方々の参加を得て大きな成果を収め、盛会のうちに幕を閉じることができた。この記念大会に出場出演・発表展示をした生徒諸君の日頃の努力精進に対し、それを支える指導者の方々への感謝を含めて、心からの敬意を表するとともに、この大会の企画運営に当たられた実行委員会の諸先生、この大会に物心両面からのご支援ご協力をいただいた大分県・大分市、それぞれの教育委員会をはじめ関係各位に心から厚くお礼を申し上げる次第である。

昭和26年、全国に先駆けて大分県高文連が結成されて以来、大分は高文連活動において常に先進県であり、先導者的役割を果たしてきた。昭和51年の第1回大分県高等学校総合文化祭は翌年千葉で開催された全国高等学校総合文化祭の「原型(プロトタイプ)」となり、昭和54年本県で開催した第3回全国高総文は、その後の全国総文のモデルとされ今日に至っている。このような輝かしい歴史と伝統をもつ高文連が、この40周年を機に更に充実向上していくためには、過去を点検し、課題を洗い流しその解決をはかっていくことが、現在のわれわれに課せられた責任であろう。先輩諸賢から寄せられたご提言も含めて、幾つかの課題をあげてみる。

その一は、情熱と創意にみちた指導者、とくに若手指導者の育成と質的向上であり、そのためには、指導者の研修機会(先進地視察や各種大会・講習会への派遣など)の拡充が必要であろう。

その二は、現行15専門部の活動内容の見直しと精選である。

その三は、高校生の興味・関心の多様化に対応して、ロック、ジャズ、ビデオ、映像部門など新部門の開発も考えていかねば文化系部活動の活性化は図れまい。

また、地域に根ざした芸能文化を継承し、その振興をはかるための郷土芸能部門の新設も、困難な問題をかかえながらも急がれるところである。

その四は、競争原理の導入である。現在多くの場合、発表形式であるが、コンテスト・コンクール形式も可能な限り取り入れたらどうだろう。

しかし何と云っても、大分県芸術振興会議(芸振)との交流と連携の緊密化、県文化行政とのパイプの拡充が高文連活動の振興のために重要課題と考える。

次に、確実にやってくる生徒減少期に備えるとともに、事業の拡充・活性化のために財政基盤の確立が急がれる。

いずれにしても、今回の記念大会で本県高校の芸術・文化活動が今後更に大きく飛躍できるだけの地力をつけているという確信を得た。「輝く未来みつめて」無限の可能性を秘めた若い高校生の創造活動を育成・伸張させ、「心豊かな」豊の国づくり、大分県文化の振興に力を尽くしていく重責に思いをいたし、決意を新たにしているところである。

第26回大分県芸術祭

大分県芸術祭開幕行事をふりかえって

日本コロムビア専属 日本民謡梅幸会会主 森山幸吉

本年の開幕公演は、当初、竹田会場が予定されており、竹田を中心とした民謡を、練習・準備を進めてきたが、7月2日竹田地方を中心に襲った未曾有の大洪水により、竹田文化会館が使用不能となり、急きょ、中津地区決定の指示が出た。当然、内容も変更しなければならず、短期間で取り組むことの困難が多々あり、構成出演「結婚式三題」にも種々県当局のご協力を得て、心より感謝している。また地元には、期間が短かったものの僅かな民謡でも発表することが出来得たが、観客に好まれるような民謡の研究余地が十分でなかったことが心残りであった。

第5回国民文化祭が愛媛県松山市で催され、発掘民謡を発表した。全国の民謡を観照して県下のふるさとの唄も劣ることはないと思う。ますます民謡に取り組み頑張る心地が湧いてきた。有意義な良き祭典であった。民謡発掘といっても、唄って聞き、好むものでなければ発掘しても意味がない。皆が好んでこそ民謡の伝統文化として、残るものである。それには尺八民謡、三味線民謡なりに聞かせるものにするのである。

県下の民謡界は他県のを唄わなければ民謡でないように思われがちであるが、地元の民謡を大切にすることが今後の課題であり、努力の必要性があるものと痛感する。



大分県芸術祭中幕行事をふりかえって

楽友会 芳村 伊久之介

県の芸術祭も26回になるまで、私共は何をしていたのかと思います。

日本の歴史、あるいは四季折々の風情、また歌舞伎・日本舞踊等の劇場音楽として、何百年も栄えてきた我が国独自の誇る長唄・三味線をむつかしいからとって、骨董品ではないのです。古い方達が何代も何代も練り上げたものを、私達が平成の御代でうもらせることは出来ません。その意味でもこの度の中幕を頂いたことは、本当にありがたいことでした。興味のない方、お稽古していられない方、またはプロの方々と幅広い観客の皆様方から大変な御好評を頂戴し、私ども会員に自信と力を与えてくださいました。

良い日ざしを拝もうと思えば困難な山嶽が立ちふさがっています。だからとって日の当たらない所で腐敗させるわけにはまいりません。長唄には人の心をなごませ、また反省させるべき要素が、随所に唄い込まれています。

芸を通しての情操教育の一端として、皆様で誇れる日本音楽として大切にしていなければ、この度の公演が有意義な演奏会であったと、会員一同感謝の気持ちで一ぱいでございます。

（以下、写真）



大分県芸術祭閉幕行事をふりかえって

大分県三曲協会 川口九山

平成2年11月25日(日)、県立芸術会館ホールに於いて午後1時より、「平成を文化で築く豊の国」箏・三絃・尺八による古典邦楽演奏会が開催された。

本年は大分県三曲協会の第30回公演にあたり、東京より琴古流尺八奏者・山口五郎師、九州系地唄三絃奏者・藤井久仁江師と令息で九州系地唄箏曲奏者・藤井泰和師を招いて、山口五郎師には「巢鶴鈴慕」（昭和52年米国が宇宙人への贈り物として打ち上げた惑星探索機ボイジャーII号に日本の音としてこの曲が選ばれ、同師が吹奏・録音したものを搭載し現在も飛行中）を、藤井久仁江師は三絃弾き唄いの「影法師」と泰和師との三絃段合せ「玉川」、更に三師による三曲合奏「残月」の演奏をメインとしての会は第26回大分県芸術祭閉幕行事にふさわしく、地元三曲協会員出演の意気の合った好演六曲と招演者の至芸は芸術会館ホール満席の聴衆に多大の感銘を与え、盛会裏に古典邦楽の奥ゆかしさを披露することができた。



第26回 大分県芸術祭賞等を贈呈 日本民謡梅幸会など6団体、11個人に

区分	受賞者(団体・個人)	功 績 概 要	区分	受賞者(団体・個人)	功 績 概 要
芸術祭賞	日本民謡梅幸会	第26回県芸術祭開幕公演「豊の里民謡の旅」を成功させた実績は大きく、さらに平素から民謡をとおして郷土文化の育成・普及にも努めており、地域に密着した文化活動により、県民文化の向上に寄与すること大である。	奨励賞	 上原 房子	佐賀関町文化協会 昭和38年佐賀関町文化団体連絡会結成以来、同会理事として活躍。「関の鯛つり唄」の振り付けや踊りの指導にあたり「関の鯛つり踊り」の名を広め、昭和62年には盛岡市でこの踊りを披露し、また本年は伊勢神宮奉納全日本民謡大会等に団長として参加、町内では第21回町芸能文化祭(県芸術祭参加行事)の中心となるなど芸能文化の保存・発展に多大な貢献をした。
	楽友会(長唄)	第26回県芸術祭中幕行事として長唄の会を開催し、「格調高く古典の魅力たっぷり」と好評を得たが、これも長年にわたって日舞、長唄など日本の美の伝承とその情操教育に努めている成果で、その功績は大きい。		 仲元寺八重子	日本民謡梅幸会 第26回県芸術祭開幕公演にあたり、日本民謡梅幸会の出演のため、短期間に三味線音楽の音の組み合わせ等を行うなど、音楽の造詣も深く、芸術文化の向上に努めた功績は大きい。
	大分県三曲協会	昭和28年に発足以来、箏、三弦、尺八の会員160名をもって芸の向上及び親睦に努めている。 本年は特に県芸術祭主催行事を担当し、古典邦楽10曲を邦楽会の著名な演奏指導者藤井久仁江氏他2名を招いて、会員百余名による第30回記念定期演奏会を盛会裡に実施し、閉幕行事を成功させた。		 新貝須磨子	日本民謡梅幸会 日本民謡梅幸会による開幕行事の開催にあたり中津地方の「番所踊り唄・中津小唄」等の発掘に努力し、演出の構成に多大の貢献をした。
功勞賞	 小野 一郎	大分県日本画協会 大分県日本画協会の事務局長兼副会長として、また、県美術協会日本画部会長として日本画の振興に努め、今日の発展の基礎を築くとともに、県芸術祭参加行事として第20回大分県日本画展を開催した。	新人賞	佐藤朱音 バレエ研究所	大分県洋舞踊協会 大分県の洋舞踊発展のためソ連のバレエ教授E・バルーキン氏を招へし、大分ソ連の文化の国際交流を成功させた功績は大きい。
	 田近 豊次	日本民謡研究会九州支部 日本民謡研究会九州支部の発足以来、郷土芸能や伝承民謡の発掘に意欲的に取り組むと共に、全国民謡まつりには毎年、大分県民謡を発表し、また県芸術祭参加行事の第27回民謡まつりを開催するなど、精力的に民謡の普及に努めている。		 岩崎 洋子	大分県民オペラ協会 昭和61年全日本地方オペラコンサート東京公演以来数々の出演を重ね、今年度は豊の国オペラフェスタ推進事業の「修道女アンジェリカ」に伯爵夫人として出演し、その演技は芸術振興による海外研修の成果を思わせる卓越した歌唱・演技力を発揮し、高く評価されるなど、オペラ芸術の向上に努めた功績は大きい。
	中津・下毛広域市町村実行委員会	第26回県芸術祭開幕公演「民謡とバレエで綴る論吉の里」「豊の里民謡の旅」の開催に当たり、地元実行委員会として、主催団体梅幸会とともに大きな役割を果たし、その成功に導いた功績は誠に大きい。		 佐藤利英子	大分県洋舞踊協会 松山バレエ団での研修後帰県し、ソ連との特別記念公演「ジゼル」で主役を務めマクシム・バルーキン氏と共演し、バレエを通じて初めての大分・ソ連の文化交流に尽くした功績は大きい。
特別感謝状	 後藤 隆	大野町文化団体連絡協議会 昭和51年から昭和63年まで大野町文化団体連絡協議会の会長を務め、当初の6団体を23団体までに育成し、県芸術祭参加行事の大野町芸能文化祭を開催するなど、地域文化の振興に努めている。	特別感謝状	 神田 信彦	津久見市文化協会 平素から津久見市文化協会活動に並々ならぬ熱意を示しているが、本年度は特に協会20周年記念文化祭(県芸術祭参加行事)を盛会に開催。中でも市民による創作劇を高いレベルで開催し、全市民に深い感動を与えるなど、ふるさとの活性化に寄与することで、地域の芸術・文化の振興に寄与した功績は、他に例をみないものである。
	 片山 真一	武蔵町文化協会 昭和39年武蔵町文化協会設立以来、会長を勤め文化ホールの建設に努力すると共に、研修、展覧会、調査活動等により文化の普及に努めている。また、県芸術祭参加行事の町産業文化祭を成功させるなど、芸術文化の向上、発展に寄与した功績は大である。		竹田南高等学校演劇部	第43回大分県高等学校中央演劇祭での最優秀校として大分県高等学校総合文化祭に出演。 第32回九州高等学校演劇コンクールで最優秀に選ばれる。その作品は40人を超えるキャストを個々の性格を適格に把握した顧問教師安東達夫が作り上げたもので大分の演劇に久しぶりに九州のトップに立たせた功績は大きい。
	 笠木 啓子	大分県洋舞踊協会 第26回県芸術祭開幕公演において、地元からの賛助公演として「民謡とバレエで綴る論吉の里」を演出し、公演を一層盛り上げた。			



アメリカの美術工芸 と市民社会

大分県美術協会工芸部 久保木 真人
(県立芸術短期大学助教授)

7月28日に成田を発ち8月25日に帰国するまでの4週間にわたり、アメリカ合衆国の各地で美術工芸事情を見聞することができた。3ヵ月余りを経た今も、持ち帰った資料と格闘中である。

最初の訪問地となったワシントン州シアトルでは、陶芸家の工房を見学することができた。「隣のベルビュー市で開催中のクラフトフェアに出店中で、ここには良い作品が残っていない」という。早速、車でその会場に向かった。

ショッピングセンターの駐車場を主会場にした「工芸市」には、小間割りされたスペースに染織・陶芸から砂絵・筆に至るまでの工芸品が並べられていた。その数は100を超えるだろうか。ちょうど大分県農業祭のような賑やかな雰囲気である。

違いは、多くの店でVISA/マスターといったクレジットカードによる支払いが可能で、銀行がスポンサーになっていることである。年末には地元FMラジオ局主催のクラフトフェアがシアトル市内で開かれるということであった。

サンフランシスコでも、間近に迫ったクラフトフェアの広告をポスターに取り付けた路線バスをよく見かけた。これは、アメリカ工芸協会の関連する企業の主催である。

アメリカにおける美術工芸と市民の結び付きを示すものとして、強く印象に残ったことがもう1つある。

ボストン美術館・国立美術館といった大きな

施設に限らず、およそミュージアムと名前がつくところには必ず会員制度があり、切符売場や案内所に入会案内が置いてあるのである。

会費は年間30ドルから70ドル程度まで様々だが、入館料が無料になるのはもちろん、カレンダーや会員向け雑誌が送られてきたり、売店や館内レストランの支払いが割引になるといった特典がほぼ共通している。売店といっても、ニューヨークのメトロポリタン美術館のように、デパート並みの規模を誇ることもある。年間数百ドルから千ドル程度の特別会員になると、

館長を囲む晚餐会に招待するという企画もあるそうだ。

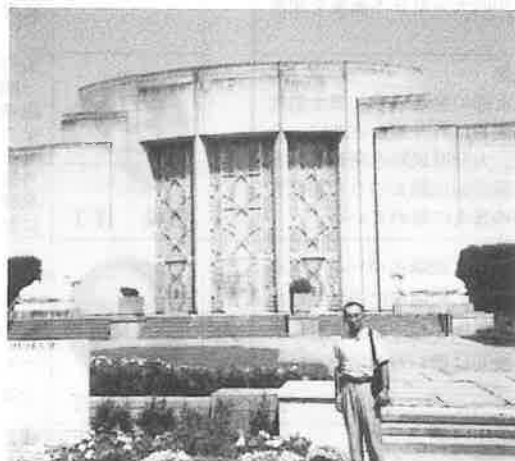
実際、テキサス州のダラス美術館で、閉館時刻間際の展示室に鉢植えやテーブルを運び入れているところに出会った。夜には会員向けのレセプションを開くらしい。名画を前にして飲むワインの味は格別だろう。

ロサンゼルスカウンティ美術館では、案内所に数人

のボランティアの女性が座って、入館者の質問に手際よく答えていた。

優れた作品を生み出すことは専ら作家個人の責任に帰する問題であるとしても、それを支え応援する体制もしくは気質が、我が国あるいは我が県の市民社会の中にもっと育つ必要があると思わずにはいられなかった。

貴重な機会と資金を提供してくださった県芸術文化振興会議と、研修員に推薦してくださった県美協日洋彫工部会の皆様に感謝したい。



シアトル美術館にて

県洋舞界の歩み (5)

若葉早苗ダンスアカデミー 若葉 早苗

近所の人達の希望で昭和50年に鶴崎の自宅でわかば会児童・創作バレエ若葉早苗バレエスタジオを開設した。51年に鶴崎地区芸能文化協会に入会し、初舞台を踏む。当初洋舞は当会のみで大変目立ち好評を得た。生徒が序々に増えて53年に鶴崎公民館で第1回発表会を開催した。未熟な小さな会に、洋舞踊協会創立者の平瀬先生がいらして下さって、立派な花束を頂戴し感激したのがこの間のように思われる。そしてその後、洋舞協会に入会を申し込み、58年に入会し、その翌年の合同公演は、丁度同日に、本部わかば会50周年記念舞踊会が東京郵便貯金ホールであり、それに参加したため不参加、60年より参加した。

発表会も第4回より芸術会館で開催し、会も充実感を増してきた。第10回記念発表会は、児童福祉に寄附をしようということで、チャリティ公演となった。開設15周年に当たる平成2年度は、幸運に恵まれ県知事をはじめ、マレーシア名誉総領事・大塚氏、梶原参議の御助力により、マレーシア親善公演を実現し、大成功を納め、マレーシアと県の国際交流の一端を担うことができた。(参加生徒28名、保護者スタッフ総勢71名の親善訪問の旅であった。)

平成3年、洋舞踊協会は県当局の御力添えを得て30周年記念公演の話が本格的になり、楽しみな大きな公演になりそうで大成功に向かって動き始めた。私個人的には、毎年発表している舞踊劇を今後も続け、演舞する生徒、御来場の観客に感動を与える作品に取り組んでいきたいと思う。

(支部わかば会の命により、平成2年度より会名を変更しました。)

モダンダンス・ 今年の舞台から

後藤智江モダン・ダンススタジオ 後藤 智江

私が郷里大分にスタジオを開設して15年。今年の4月23日に、念願の舞踊公演「旅―芭蕉の世界―」が、各方面の協力により実現した。大分では馴染みの薄いモダンダンスの世界だが、今回の作品は私の所属する平岡志賀舞踊団(東京)のもので、芭蕉の俳句の世界を踊り、音楽照明・舞台美術の時間と空間のアンサンブルで表現され、ご覧いただきたい方には、身近な舞台として興味をもたれたと思う。以前にも同舞踊団の作品「破戒」・「恩讐の彼方に」が平瀬克美先生の努力で大分公演されたが、今後もっとこの世界を知ってもらえるよう公演の機会をつくりたいと思う。また、8月12日、文化庁助成による現代舞踊公演「ただ一つの詩」が、佐賀市民会館で行われた。社団法人現代舞踊協会で九州支部の協会員(18歳以上)が力を合わせて創りあげた舞台で、明るく楽しい公演となった。県内の会員15人が出演し、これまで地理的に遠いと思われていた九州各県が近くなった気がした。今年は舞台を通じて、東京と大分のスタッフ、キャストがいっしょに燃え、九州の仲間が互いに理解し合えた1年となった。これからも、地方でも創れる、地方だからできる踊りを続けていきたいと願っている。



事務局だより

平成2年度

会員の秋の受賞者紹介

★平成2年度地域文化功労者(文部大臣表彰)

挟間正年(大分県芸術文化振興会議名誉会長)

★平成2年度文化の日知事表彰(県民文化功労)

田村卓夫(大分の石橋を研究する会代表)

大分市民合唱団ウイステリアコール(代表 飯倉貞了)

★平成2年度大分合同新聞文化賞・芸術部門

田川 奨(大分県日本画協会会長)

★平成2年度大分合同新聞感謝状

おおいた芸能花舞台(民謡・新舞踊53団体
代表 伊坂香里)

★平成2年度大分市文化の日表彰・文化部門

大分市少年少女合唱団(代表 江藤 正)

香典返し

大分県立芸術会館副館長安部 秋氏から8月1日死去された御母堂様の香典返しとして大分県芸術文化基金の一助にと金5万円が寄附された。

大分県芸術祭主催行事の一つとして毎年開催している第26回大分県美術展(本展)の実績

展名称	前年比	会 期	搬入	陳列	入場
書 道 展	(2年) 26	10/2(火)~ 10/7(日)	553	442	2504
	(元年) 25	10/17(火)~ 10/22(日)	550	430	2844
	増減	0日	+3	+12	-340
写 真 展	(2年) 26	10/9(火)~ 10/14(日)	803	421	2142
	(元年) 25	10/1(日)~ 10/8(日)	763	367	2772
	増減	-2日	+40	+54	-630
日洋彫工展	(2年) 26	10/16(火)~ 10/21(日)	744	461	4446
	(元年) 25	10/10(火)~ 10/15(日)	716	464	4532
	増減	0日	+28	-3	-86
合 計	(2年) 26	10/2(火)~ 10/21(日)	2100	1324	9092
	(元年) 25	10/1(日)~ 10/22(日)	2029	1261	10148
	増減	-1日	+71	+63	-1056

個人会員、大挙入会

平成2年度6月の第1回理事会終了後、芸術会議への入会申し込みのあった明野レディース・コーラスなど4団体・個人3人が12月22日の理事会で万場一致で承認され、新たな会員となった。

なお、個人会員番号は永久番号であり、退会した場合は欠番となる。

●団 体

団体名	事務局所在地	代表者氏名及び住所		事務局長氏名及び住所		団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過	備考
		氏名	住所	氏名	住所					
明野レディース・コーラス	■■■■	山崎泰子	■■■■	徳丸スミ子	■■■■	コーラスを通して団員の親睦と技術の向上	33名	昭和46年2月	毎年大分県合唱祭大分市民音楽祭に出演	ウ
能を楽しむ会 宮永颯扇会	■■■■	宮永育子	■■■■	宮永育子	■■■■	能楽の発展、向上、芸術への研鑽の場として広く県民に能に親しんでもらう	200名	昭和37年	演能の研究会 " 社中会	ウ
華道家元池坊大分支部	■■■■	藤原文子	■■■■	阿南和子	■■■■	華道昂揚と一般女性の情操教育	150名	昭和2年4月1日	毎年支部花展を開催、5年毎に大規模な花展	ウ
日本舞踊若柳流大分県協会	■■■■	若柳寿和	■■■■	若柳寿和	■■■■	大分県における若柳流日本舞踊の伝承発展、並びに会員相互の親睦向上と地域社会の芸術文化に寄与する	240名	平成2年12月12日		ウ

●個 人

番号	氏名	〒	住所	電話番号	所属団体	番号	氏名	〒	住所	電話番号	所属団体
159	荒武久美子	■■■■	■■■■	■■■■	県洋舞踊協会	161	津田 露	■■■■	■■■■	■■■■	
160	長島 香子	■■■■	■■■■	■■■■	伊坂舞踊研究所 筑紫会						